

ひだまり

中央区少年育成指導室だより No. 39 令和2年3月発行

皆さんは「中央区少年育成指導員」を知っていますか？

地下鉄やJRの駅、その周辺の商業施設にはたくさんの方が集まります。そこにはゲームセンター、カラオケボックスなど子どもたちも集まりやすい場所があります。そういった場所を中心に毎日巡回し、子どもたちを見守り、声をかけ、子どもたちが安全に、安心して過ごせるよう活動しているのが少年育成指導員です。中央区には、少年育成指導員が2名おり、日々子どもたちの安全を見守るとともに、日中に街中で出会う子どもたちに積極的に声かけを行っています。【巡回】

また、子どもたちが抱えている悩みを少しでも軽減できるよう積極的なコミュニケーションをとり、子どもたちが抱える問題に対し、相談対応を行っています。【相談】さらに地域における関係機関や団体との連携を取って地域における青少年の健全育成活動の支援・協力をを行っています。【地域連携】



親子関係で悩んでいる、部活の人間関係に悩んでいる、家に帰りたくない…。

悩んだ時
困った時

いつでもお気軽にご相談ください！

住所：札幌市中央区南3条西11丁目 中央区役所分庁舎6階（地域振興課内）
電話：205-3221（直通） 月～金 10時15分から17時00分まで

相談はこちらでも受け付けています

※相談を希望される場合は前日までご連絡ください。

- 中央区家庭児童相談室（平日8時45分～17時15分） 電話：511-7223
- 札幌市子どもアシストセンター（平日10時～20時、土曜日10時～15時）
電話：211-3783（大人用）／0120-66-3783（子ども専用無料電話） メールアドレス assist@city.sapporo.jp

話題

WHOがゲーム障害を国際疾病に認定！

- ゲームをする時間などを自分でコントロールできない
- ゲーム以外の出来事や関心事の優先度が低くなる
- 日常生活に支障をきたしてもゲームを優先する

こういった状態が12ヶ月以上続くと

『ゲーム障害』

深刻な場合にはより短期でも診断



世界保健機関（WHO）は昨年の5月、ゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を国際疾病として正式に認定しました。スマートフォンなどの普及でゲーム依存の問題が深刻化し、健康を害する懸念は強まっています。そこでギャンブル依存症などと同じ精神疾患と位置付け、治療研究や世界の患者数の把握を後押しするためだそうです。

厚労省の推計によると、病的なインターネット依存の疑いがある中高生はここ5年でほぼ倍増しているとのこと。しかし、実態は十分に分かっていないようです。

生まれた時からゲームやインターネットとの付き合いがはじまる今の子どもたちには、成長に合わせて、実生活や心身に支障が出ないようにこれらとの接し方をコントロールしていく能力が必要だと言われています。一方で、その能力を確実に身に着けていける社会の仕組みは、まだまだ十分ではないように思います。

さて、皆さんのゲームやインターネットとの付き合い方の現状はいかがですか？

ネット依存

● 成人

推定 421万人
（厚生労働省 研究班 2013年）

● 中高生

推定 93万人
（厚生労働省 研究班 2017年）

ゲーム
障害
90%

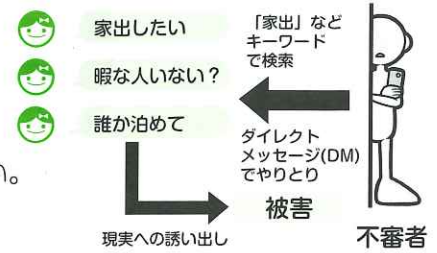
SNS・
動画
37%

ネット依存の
90%が
ゲーム障害

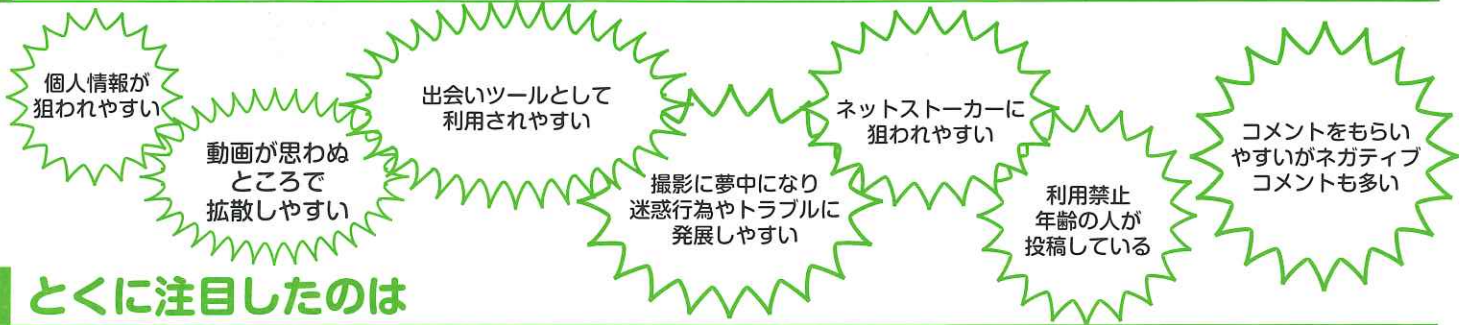
（久里浜医療センター 2016-2017）

昨年の11月に気になる新聞記事を目にしました。ツイッターなどのSNSを通じ、性犯罪などの被害に遭った道内の未成年者が昨年は10月末で117人(小学生5人を含む)に上り、年別で過去最多を更新しているという北海道警察の発表の記事です。便利さや新たな楽しみが提供されている一方で青少年がかつてない危機にさらされているという思いから、今年の「ひだまり」では、動画SNSのTik Tokについて特集を組みました。いまさらながら、かも知れませんが安全にSNSと付き合うために、是非目を通してください。

不審者がSNS上で子供に接触する手口



TikTokに潜む7つの危険



とくに注目したのは

Tik Tokの特性

- ①手軽に、気軽に動画が作れて投稿できる
- ②コメントがすぐもらえる
- ③投稿する人が10代の若者中心で感性が一致しやすい安心感がある

陥りやすい落とし穴

顔出し投稿への抵抗がない

顔出しは非常に危険！公開は慎重に判断！
※アカウントは非公開設定に

個人情報のガードが甘くなる

自分の動画を人がどう思っているか気になるころ、でも、不特定多数からのコメント受信は非常に危険！
※他人の動画ダウンロード、コメントに入力は禁止に

相手を同じ年代と思い込みやすい

事件

• さらに

投稿する前にもう一度、個人情報の流失につながるものが動画に映っていないか確認！
本名が知られてしまう記載はないか？、生年月日はわからないようになっていないか？
学校の制服や名札などは映っていないか？背景の建物に住所を特定できるものが映っていないか？など

• 諸々のトラブルを考えると

保護者の人と相談してペアレンタルコントロール(保護者管理機能)で安全を確保してもらいましょう。

Tik Tokを含むSNSのリスクを管理する方法

誰かが自分の個人情報を狙っていると認識する

意図しない情報の漏洩や拡散の可能性を知っておく

一度拡散すると、ネット上から動画が消えることはない

中傷
悪意のあるコメント

面識のない他人とつながることのリスクを知る

知らないところで無断転載！？

SNSは手軽な情報発信と流出が表裏一体である

利用者の個人情報が狙われています